

ほたるっ子

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 66
R4. 11.30
(文責: 校長 菅家 篤)

オンラインやタブレットを導入している今、 私たち教師が考えなければならないこと



GIGA スクール構想により、学校教育は大きく変わり始めています。オンラインでの授業やタブレット端末の導入などにより、学校教育における利便性は、今後ますます高まっていくでしょう。子どもの学びの手段は、個別最適化を目指しており、選択肢は大きく広がります。

また、環境や手段が整えば、これまで学校に来ることが難しかった子どもたちは遠隔で授業に参加できるようになり、教科書やノートでは学ぶことが難しかった子どもたちはタブレット操作によって学びやすくなります。



タブレットを活用して学ぶ4年生

本当に大切なことは何か

便利な新しい道具を手に入れたとき、それをどう使うかという姿勢が大事だと考えます。オンラインやタブレットが教育に導入されたこの時期に、そうした技術を「国や企業を支える人材を育てるために」使うのか、「一人一人のいのちを輝かせるために」使うのかは、私たちに与えられた大きな問いでもあります。

学校教育の在り方は、国の在り方や人間の在り方に繋がります。子どもたちの未来をつくる教育、目指す社会について、「本当に大切なことは何か」を考えるべき地点に、私たちは立たされています。

教室での学びを実際の社会につなげる



豊臣秀吉の政策について調べる6年生

学校の教室を、実際の社会や世界につなげること。大人である私たち自身が、どんな社会で生きていきたいか、どんな社会に変えていきたいかを考えることなしに、子どもたちにより学びを提供することはできないと思っています。

6年生の歴史の授業を例にお話しします。左の写真は、先月の授業研究会で豊臣秀吉の「刀狩」政策について学習する様子です。「刀狩」政策を行った効果について、教科書等をもとに調べるといのが一般的な授業ですが、例えばここで、現在アメリカで社会問題となっている「銃規制」について考えさせることで、子どもたちにとって遠い昔の「刀狩」という事象が、ぐっと身近なものに変わるでしょう。教室での学びを

実際の社会につなげる。このような意識が私たち教師にはますます必要になってくると考えています。

急激に学びの変革が進むこの時期を、学校教育の在り方を深く考えるチャンスとしてとらえ、一人一人の子どもたちのために、私たち教師は、立ち止まって自問自答し続けなければならないと思っています。